

会 議 録

第 1 8 回定例会

開会 令和6年2月16日

教育委員会会議録

1 開 会 令和6年2月16日 午前10時

2 閉 会 令和6年2月16日 午前11時10分

3 教育委員会出席者

教育長	榊 浩一
委員	島 隆寛
委員	三木 千佳子
委員	河野 暁
委員	岡本 弘子
委員	横田 賢二

4 教育長及び委員以外の出席者

副 教 育 長	阿部 淳子
教 育 次 長	中野 敏章
教 育 次 長	生田 雅和
教 育 創 生 課 長	藤坂 仁貴
福 利 厚 生 課 長	中山 貴晶
グローバル・文化創造幹	寺澤 昌子
GIGA・消費者教育担当室長	藤川 美和
人権教育課いじめ問題等対策室長	蔭山 善宏
総合教育センター	
GIGAスクール推進課長	多田 巧
教 育 政 策 課 長	内海 はやと
教 育 政 策 課 副 課 長	櫻木 大介

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

《議案第53号 徳島県立高等学校総合寄宿舍管理規則の一部を改正する規則について》

教育長 説明を求める。

G I G A・消費者教育担当室長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし

教育長 議案第53号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第53号を原案どおり決定する旨を告げる。

《議案第54号 徳島県立高等学校総合寄宿舍処務規程の一部を改正する訓令について》

教育長 説明を求める。

G I G A・消費者教育担当室長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし

教育長 議案第54号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第54号を原案どおり決定する旨を告げる。

《報告事項2 スクール・ミッション及びスクール・ポリシーの見直しについて》

教育長 報告を求める。

教育創生課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

島委員：スクール・ミッションやポリシーについて、在校生の意見はあまり反映されていないのか。

教育創生課長：策定に当たっては、学校との調整は行っているが、生徒の意見は聴取できていないかと思う。

島委員：最近では、校則の見直しにおいて、生徒が主体となって考えている。この件も、自校の在り方について意見を聴く機会があってもいいのではないか。

教育創生課長：検討させていただきたい。

岡本委員：徳島教育大綱と同様に、美しいキーワードが並んだお題目にならないように、具現化していくことが重要である。生徒の取組の過程や成果を発表する場を多く設けていただき、学校の特色化がなされていることが広報され、中学生が「この学校に進学して、このような取組をしたい」と思える具体的なものとなるように、県教委として支援していただきたい。

《報告事項3 令和5年度第3回徳島県いじめ問題等対策審議会の議事内容について》

教育長 報告を求める。

いじめ問題等対策室長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

三木委員：以前から、「いじめの認知件数が多いことが悪いことではない」ということを広める、という話があったが、どのように発信しているのか。

いじめ問題等対策室長：最新のデータでは、徳島県のいじめの認知件数は2,958件と過去最高となっている。コロナ禍の臨時休業により令和2年度は減ったが、基本的には、法律ができた10年前から年々増加している。この認知件数の数字は、重大事態にならないように、学校の先生方がいじめの芽を見逃さず、早期発見、早期対応に努めた結果であると捉えている。発信については、学校から保護者に積極的に説明していくことが必要。また、県教委や市町村教委からも学校に働きかけていくこと

が大切。来年度はホームページや研修など、あらゆる場面を捉えていじめの認知について理解促進を図る。

三木委員：文書で伝えるのか。

いじめ問題等対策室長：文書も一つの方法である。形に残るもので、いつでも確認できるように工夫していきたい。

三木委員：数字のインパクトが強いので、誤解を生まないように取り組んでほしい。

教育長：重大事態とならないように、早期の段階で見つけて対応していくことが大切。ただ、それだけでは根絶できない。来年度は、特に未然防止にも取り組み、「いじめは絶対にしてはいけない」と、全校で徹底して教えていきたい。未然防止と早期発見を同時展開で実施し、子供たちが安心して通える学校づくりを進めていきたい。取組状況については、随時報告させていただく。

《報告事項1 1人1台端末について》

教育長 報告を求める。

教育政策課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

島委員：「駆動時間を確保」とあるが、端末のバッテリーを交換するのか。

教育政策課長：バッテリーそのものの交換が難しい構造となっており、給電しながらの使用や、バックグラウンドで動いているアプリの利用制限等、総合教育センターで検証しているところ。

島委員：追加調達分4,000台について、Chrome OSとWindows OSが半分ずつとなっている理由は。

教育政策課長：一つのOSに限定し、まとまった台数を調達すると時間がかかることや、義務教育段階においてはChrome OSのシェアが高く、県内でも実績があること、また、教育DX加速化委員会で先の1,500台の調達に加えて、追加調達でもどうかという意見があった。

岡本委員：数%の不具合は通常あるが、今のような状況となると、後追いで調達しても間に合わないので、どんどん前倒しで検討を進めてほしい。小学校において、Chrome OSが非常に使いやすく、活用されている状況を見ている。子供が使いやすいものに思い切って転換していくことも大事だと考える。

教育政策課長：教育DX加速化委員会の意見も踏まえ、早期に対応していきたい。

教育長：バッテリー膨張に加え、劣化によるバッテリー駆動時間の問題が増え、端末

の活用が難しい状況となっている。生徒、保護者、先生には御迷惑をおかけし申し訳ない。教育DX加速化委員会において、1人1台端末の状況に戻すため、バッテリー対応等の検討を進めているところ。しっかり検証を行い、子供たちに端末を届けたい。

横田委員：残りの端末が全て壊れる可能性もないとは断言できない。1日も早く、生徒が安心して端末を活用した授業を受けられるようにしていただきたい。

[非公開]

《協議事項1 令和5年度2月補正予算案について》

《議案第51号 退職手当の支給制限処分について》

《議案第52号 退職手当の支給制限処分について》

《議案第55号 令和5年度徳島県藍青賞の受賞者について》

[閉会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉会 午前11時10分